

進明中学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

[日 時] 令和5年11月30日(木) 13:00～14:30

[出席者] (1) 学校側出席者 進明中学校教頭、担当教諭、公民館長
 (2) 市側出席者 福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、
 福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

[訪問内容] ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
 ・委員会活動の見学(環境整美委員会)

[講 評] ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な(身につけるべき)能力・態度

I	環境の取組	能力・態度	概念
	≪学校で花を育てる活動に取り組めます≫ ・プランターに花を植え、大切に育てます。	④、⑤、⑦	⑤、⑥
		所感 学校訪問当日は、最初に学校版環境 ISO への全体的な取り組みについて、担当教諭から具体的な説明がなされたことで、とても理解しやすかった。 その後の校内巡視では、随所に節電・節水などを呼びかけるとともに関係する豆知識を散りばめた手作りポスターなどが掲示されており、工夫のあとが見て取れた。 なお、今回、時期的にプランターの花を見ることはできなかったが、植え付ける花苗の選定については、予算の制約はあるものの、水やりなど管理する生徒のモチベーションを上げるためにも今後とも生徒と話し合われることを希望する。	

Ⅱ	環境の取組	能力・態度	概念
	「学校全体で節電・節水に努めます」	①、③、④、⑤、⑦	③、④、⑤、⑥
	・ 全校に本校の環境 I S O の目標・取り組みについて、生徒及び教職員に周知・共有します。 ・ 環境整美委員会で、節電・節水を全校に呼びかけます。また、節電・節水の必要性や豆知識を紹介したり、展示物を作成したりします。	所感 環境整美委員会（全学年、各クラス 2 名で構成）の活動として、ポスターやスライド作成への取り組みを見学した。 そこでは、学校側から実際に進明中で消費された電気量や水道量について、具体的なデータを金額も含めて「見える化」して生徒に提供していることは、節電・節水に限らず環境意識を醸成する意味でも効果的だと思う。 なお、改善策を検討する際など、ネット検索を利用する機会もあろうと思うが、上位に出てくる情報が正しいとは限らないことを、ぜひ生徒に理解させてほしいと考える。	
Ⅲ	環境の取組	能力・態度	概念
	「ごみの分別・リサイクルに努めます」	③、④、⑤、⑥、⑦	②、③、④、⑤、⑥
	・ 清掃時のごみ回収、給食片づけ時のごみ捨てなど、燃えるごみと燃やせないごみの分別を全校に呼びかけます。 ・ 各教室で出た古紙をリサイクルボックスに回収します。 ・ P T A と連携し、リサイクル用制服（制服・体操着・柔道着など）を回収して、再利用します。	所感 こうした活動は地味であり、ともすればマンネリ化しやすい分野だが、とても基本的で重要なことであり、今後とも継続的に取り組んでほしいと思う。 使わなくなった制服や体操着を回収して、廉価で譲り渡す活動は有意義であり、持続させるためにも「無料配布」でなく「有料」にこだわって欲しいと考える。	
Ⅳ	その他の所感		
	学校訪問時には、東教頭、秋林教諭に加え、下條松本公民館長からも進明中学校の環境への取り組みを具体的かつ丁寧に説明され、またこちらの話を熱心に聞いてくれたことに感謝する。 今回の学校訪問全体を通して、環境問題を「見える化」など工夫して、生徒に伝えよう、理解してほしいとの学校側の姿勢が強く伝わってきたことは、とても心強く感じた。 以下余談です。貴校で保管・展示されている湯川秀樹博士の色紙は、中谷宇吉郎雪の科学館（小松市）の「科学者の心展」に出張・展示中とのこと、実物を見られなかったのは残念だが、こうした内外の学術・教育機関との交流はとても有意義なことだと思う。		

〔訪問の様子〕

